

アンケートにご協力ください

世羅町まちづくりに関するアンケート調査

日頃より町政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

このアンケート調査は、人口減少や高齢化が進む中であっても、町民の皆様が安全で安心して暮らすことができる持続可能なまちづくりを進めていく指針となる「**立地適正化計画**」策定に向けて、皆様の普段の行動や、これからのまちづくりに対するお考えなどをお伺いするものです。（「**立地適正化計画**」については裏面をご覧ください）

アンケート調査について

【回答方法】

① 郵送による回答

- ・アンケート調査票にご記入いただき、返信用封筒に入れて、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

② インターネットによる回答

- ・スマートフォン等で右のQRコードを読み込むか、パソコン等で次のURLにアクセスして、ご回答ください。



URL : <https://fgex-res.net/871621?lang=ja>

（インターネットによる回答をいただいた場合は、調査票の郵送は不要です。）

【回答期限】

令和5年10月31日（火）
まで

できるだけ多くの方の
声をお聞かせください。
ご家族の方も、ぜひ
インターネットからご回答を
お願いします。



お問い合わせ先 : 世羅町 建設課 建設係（担当：安井、高橋）

電 話 : 0847-22-5309 / FAX : 0847-22-5921

Eメール : kensetsu@town.sera.hiroshima.jp

本調査は、統計的な処理を行いますので、個人が特定されることはございません。アンケートの集計結果については、ホームページ等で公表を予定しています。また、本町のまちづくりに関する意向把握を目的として実施するものであり、取得した情報を目的以外に無断で利用・公表することはありません。

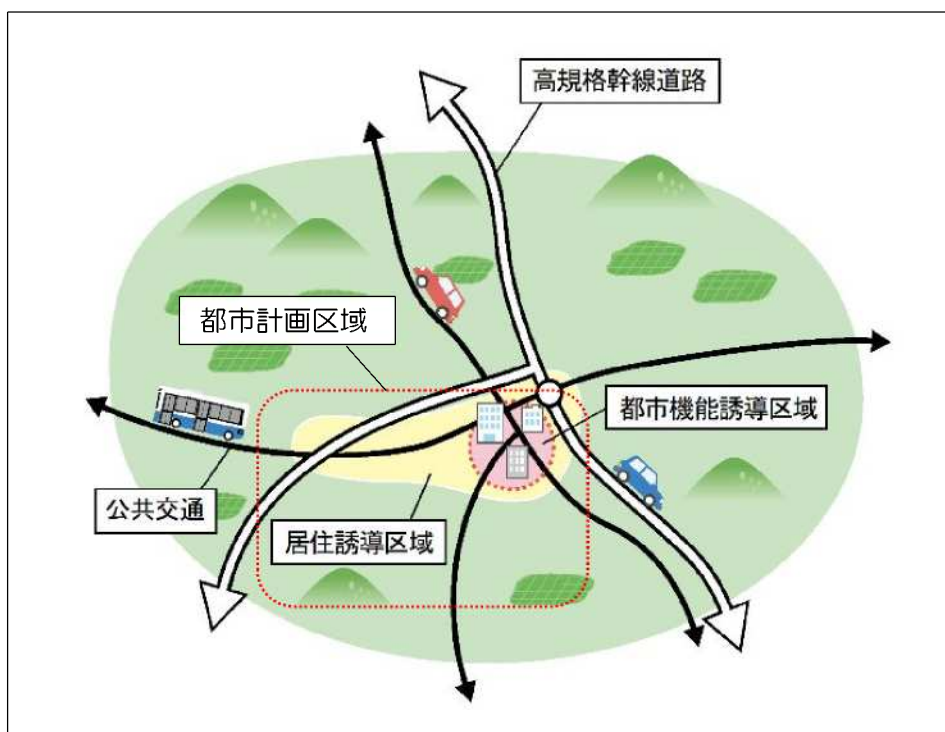
立地適正化計画とは？

急激な人口減少や少子高齢化の進行、頻発・激甚化する自然災害など、世羅町を取り巻く環境は年々大きく変化しています。

そういった中で将来にわたって安全安心な暮らしを維持するためには、一定の人口密度を維持したコンパクトな市街地と公共交通ネットワークによる「**コンパクト・プラス・ネットワーク型**」の都市構造への転換が必要です。

立地適正化計画とは、都市計画法による土地利用の計画に加えて、住宅や都市機能（医療・福祉・商業等の生活サービスや公共施設など）の誘導により、コンパクトなまちづくりを実現するための計画です。

また、都市計画区域外の各集落拠点においても町中心部と公共交通でつながることで、**世羅町全体として将来に渡りまちの機能を維持することを目的**としています。



コンパクト・プラス・ネットワーク型都市構造のイメージ

立地適正化計画は、2014（平成26）年、都市再生特別措置法の改正により、創設された制度です。都市再生特別措置法とは、近年における少子高齢化等の急速な社会経済情勢の変化に対応した都市機能の高度化、居住環境の向上を図るための基本方針を定めたものです。都市計画区域を対象として、世羅町が策定します。

アンケート調査票

該当する選択肢の番号に「○」をお書きください。

記入例

⑤ 50代

あなた（回答者）ご自身のことについてお伺いします

問1. あなたの年齢はおいくつですか。（一つだけ）

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80代以上 | |

問2. あなたの家族構成はどれですか。（一つだけ）

1. 単身（一人暮らし）
2. 1世代のみ（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ、家族以外との同居など）
3. 2世代が同居（親と子、祖父母と孫など）
4. 3世代以上が同居（親・子・孫など）

問3. あなたのお住まいの地域はどちらですか。（一つだけ）

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 甲山地区 | 2. 宇津戸地区 | 3. 中央地区 |
| 4. 伊尾小谷地区 | 5. 東地区 | 6. 大田地区 |
| 7. 大見地区 | 8. 西大田地区 | 9. 津久志地区 |
| 10. 山福田地区 | 11. 小国地区 | 12. 津名地区 |
| 13. 黒川地区 | | |

問4. 現在お住まいの地域にずっと住み続けたいと思うか、当てはまるものをお選びください。（一つだけ）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. これからもずっと住み続けたい | 2. できれば住み続けたい |
| 3. できれば町外へ移りたい | 4. できれば町内の他の地域に移りたい |
| 5. わからない | |

移りたい地域の番号を
問3から一つ選んで
記入してください。
（空欄でも結構です。）



世羅町に立地する施設について

◎世羅町内には、商業施設や公共公益施設などが立地していますが、今後も町民の皆様がより快適なサービスを受けられるよう、それらの施設の立地を緩やかに誘導していく必要があります。

以上を踏まえ、以下の設問にお答えください。

問5. つぎの施設について、それぞれの利用頻度と主な移動手段を教えてください。

また、現在特に不便で困っている施設があれば教えてください。（3つまで）

【公共交通】バス、タクシー、乗合タクシーなど

項 目	施設の利用頻度				主な移動手段				特に不便で困っているもの (3つまで)
	1 週3日以上	2 週1～2日程度	3 月1～2日程度	4 ほとんど行かない	1 徒歩や自転車	2 公共交通	3 自家用車(送迎含む)	4 わからない	
【記入例】 1. 食料品・日用品の店舗（スーパー、ドラッグストアなど）	1	2	3	4	1	2	3	4	○
1. 食料品・日用品の店舗（スーパー、ドラッグストアなど）	1	2	3	4	1	2	3	4	
2. 衣料品の店舗	1	2	3	4	1	2	3	4	
3. ホームセンター	1	2	3	4	1	2	3	4	
4. 家電用品店	1	2	3	4	1	2	3	4	
5. コンビニエンスストア	1	2	3	4	1	2	3	4	
6. 食堂やレストランなどの飲食店	1	2	3	4	1	2	3	4	
7. 病院、診療所（クリニック、医院など）	1	2	3	4	1	2	3	4	
8. 調剤薬局	1	2	3	4	1	2	3	4	
9. 保育所・児童館・幼稚園などの子育て施設	1	2	3	4	1	2	3	4	
10. 学校などの教育施設	1	2	3	4	1	2	3	4	
11. 福祉施設（高齢者福祉施設、障がい者福祉施設）	1	2	3	4	1	2	3	4	
12. 銀行や郵便局などの金融機関	1	2	3	4	1	2	3	4	
13. 図書館・文化ホールなどの文化施設	1	2	3	4	1	2	3	4	
14. 行政窓口	1	2	3	4	1	2	3	4	
15. 身近に利用できる公園や広場	1	2	3	4	1	2	3	4	

問6. 商業施設や公共施設等の各施設について、現在の有無に関わらず、役場周辺（町中心部）に「必要な施設」と「なくてもよい施設」をお伺いします。該当する施設の欄に○を記入してください。（それぞれ3つまで）

項 目	〔記入例〕	町役場周辺 （町中心部）に	
		必要	なくてもよい
施設	1. 食料品・日用品の店舗（スーパー、ドラッグストアなど）		
	2. 衣料品の店舗		
	3. ホームセンター		
	4. 家電用品店		
	5. コンビニエンスストア		
	6. 食堂やレストランなどの飲食店	○	
	7. 病院、診療所（クリニック、医院など）		
	8. 調剤薬局		
	9. 保育所・児童館・幼稚園などの子育て施設		
	10. 学校などの教育施設	○	
	11. 福祉施設（高齢者福祉施設、障がい者福祉施設）		
	12. 銀行や郵便局などの金融機関		
	13. 図書館・文化ホールなどの文化施設		
	14. 行政窓口		
	15. 身近に利用できる公園や広場	○	

問7. 将来、あなたの住む地域から町中心部へのアクセスについて、各地域の自治センターをより有効的に活用できる方法があればお聞かせください。

日常の移動について

◎今後、一層の高齢化の進行に伴い、自家用車の運転操作に不安を抱く方が増加することが考えられます。一方、人口減少が進み公共交通の利用者が減少していくと、公共交通の維持に関する負担が大きくなることが懸念されます。

以上を踏まえ、以下の設問にお答えください。

問8. あなたの世帯における自家用車の所有状況はどうか。(一つだけ)

1. 自分で自由に使える自家用車がある 2. 家族用の自家用車がある
3. 所有していない

問9. 外出の際に気兼ねなく送迎してもらえる人がいますか。(一つだけ)

1. いる（同居の親族） 2. いる（別居の親族）
3. いる（親族以外の知人等） 4. いらない

問10. 現在、町の乗合タクシー（せらまちタクシー）を利用していますか。（一つだけ）

1. 乗合タクシーを知らない ⇒ 問11へ
2. 利用している ⇒ 問11へ
3. 利用していない ⇒ 問10-2へ



問10-2. 問10で「3. 利用していない」と回答した方にお伺いします。
現在、乗合タクシーを利用しない理由は何ですか。（一つだけ）

1. 必要ないから（自家用車などの他の交通手段を利用している）
2. 利用方法がわからないから
3. 予約が面倒だから
4. 運行時間帯が限られており自分が利用したい時間に合わないから
5. 運賃が高いから
6. その他（ ）

問11. 徒歩による移動時間についてお伺いします。

スーパー、金融機関、医療施設、バス停などに徒歩で行こうとする場合、何分まで（所要時間）であれば徒歩で行きますか。（一つだけ）

1. 0~5分程度 2. 5~10分程度
3. 10~20分程度 4. 20分程度

※歩行が困難な方は、1.を選んでください。

世羅町の居住と災害対策について

◎近年、気候変動の影響により頻発・激甚化する自然災害への対策が全国で大きな課題となっており、世羅町においても、雨や地震による土砂災害が発生するおそれのある地域が多く存在しています。これらの地域には既に皆様のお住まいや都市機能（医療、福祉・子育て、商業施設等の暮らしを支える施設）も一部立地しているため、今後、居住地としての在り方や適切な災害対策を検討していく必要があります。

以上を踏まえ、以下の設問にお答えください。

問12. 災害のおそれがある地域における、住まいや都市機能（医療、福祉・子育て、商業施設等の暮らしを支える施設）の立地の在り方について、あなたの考えに近いものはどれですか。（一つだけ）

1. 行政による防災対策には限界があるため、災害のおそれがある地域にある住まいや都市機能の集積を抑制すべき
2. 行政による防災対策には限界があるため、災害のおそれがある地域での新たな住まいや都市機能の立地は規制していくべき
3. 災害のおそれがある地域であっても、住むかどうかは町民の判断とし、行政が規制すべきではない
4. わからない

ハザードマップを確認してみよう！

地域の危険性や避難場所などを普段から確認しておき、災害時に速やかに安全な場所に避難できるようにしておきましょう。

世羅町土砂災害ハザードマップのご確認は右のQRコードから⇒



※土砂災害（特別）警戒区域は広島県が随時再調査・指定を行っています。最新の情報及び詳細は、『土砂災害ポータルひろしま』で確認できます。また、浸水想定区域の詳細を調べるには『洪水ポータルひろしま』が便利です。



これからの都市計画について

問13. 「コンパクト・プラス・ネットワーク型」のまちづくりについて、ご意見がありましたらお聞かせください。

**以上でアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。**

ご記入いただきました調査票は、同封した返信用封筒に入れ、
切手を貼らずにポストに投函してください。

【回答期限】

令和5年10月31日（火）まで